



一般社団法人
日本胡麻協会
Japan Sesame Association

広げよう
ごま
で
幸
せ
づ
く
り



日本胡麻協会 会報

【第12号 2016年3月1日発行】



〒604-0845

京都市中京区烏丸御池上る 二条殿町546

NT都ビル9階 わだまんサイエンス内

TEL: 075-222-7318 / FAX: 075-222-0318



ごま福堂 道後店
児嶋享祐

セサミマイスターの皆様、はじめまして。

私の母は還暦を過ぎてから、実の姉と小さなカフェを始めました。

オープンして3～4年は経ちますが、地域の方や固定客の方が足を運んで下さり、それなりに繁盛しているみたいです。

去年の秋頃にランチをしに行った所、母に「この店いる？」といきなり言われました。

最初はいきなりだったので戸惑い、「考えとくわ」とだけ返事しました。

しかし母にお店いると言われてから色々考える様になり、大変やけど自分で何か始めるのも面白いんじゃないか？と心のどこかで思うように・・・。

実際に自分の友人や知人にも、雑貨屋やカフェをしていたり、ベジタブルアレンジメント（野菜でブーケを作る）の事業を始めたりと自分で頑張っている人があり、そう言うのを間近で見ていると自分でも何かやりたくなって来ました。

セサミマイスターの資格をとってから約2年経ちますが、「ごま」という種がもたらしてくれた縁に恵まれた事に感謝するとともに、深堀さんの教えや道後で学んだ事を生かして次のステップへと進んで行きたいと思います。

不器用な自分ですが、これからも胡麻にパワー貰い、色々な人に幸せを分けられるように精進いたします。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

ごま福堂 錦店
光嶋 智子

私は、料理を作るのは好きですが、今まで胡麻を取り入れる習慣がなく、初めて杵つき金ごまというのを知り、食べた時に「いつも食べている胡麻と全然違う！！」と驚きと感動したのを今でも覚えています。

胡麻に関わる仕事をするようになり、胡麻の種類も商品もこんなにあるのもびっくりしました。

段々と胡麻のことを知るようになってから、自分もセサミマイスターの資格を取得してもっと胡麻を深く知り、勉強したいと思うようになりました。

そこから深堀さんとの出会いで、最初はこんなに熱い人がいることも驚きでしたが、、、笑

色々と学ぶものがたくさんありました。

マイスターの資格を取ってから、色んなことが分かり、同時に楽しさもありました。

色んな人にもこのおいしさ、料理の楽しさや健康面でもいいことを広めたいなと思いました。

今では、胡麻のお店にたくさんのリピーターさんの方がいただき、広がっている感じで楽しさや喜びを感じています。

まだまだ日々勉強中ですが、これからもたくさんの人に感動を味わっていただけるようにがんばっていきたいと思います。

ごま福堂 錦店
庄司典子

思えば、真っ黒に日焼けして、真っ青な海を泳いでいた、あの頃、海の向こうに見えていたのが、喜界島でした。今では日本屈指の白ごまの産地です。泳ぎ疲れて家路を急ぎ、食卓には当たり前のように、たっぷりのゴマ。今さらながら感動する今日この頃です。半世紀も経ってから、改めてゴマに出逢い、今、ゴマに関わっている事に感謝しながら日々愉しく過ごしています。ゴマを語る時思わず笑顔になりますよね?マイスターとしてこれから沢山の人と出逢い、笑顔のゴマ談義を繰り広げて行きたいものです。因みに、マイスターとして、ゴマをつくときの最初の、トン、トン、トンは、GOODlack、[幸運を祈る]と、言う言い伝えがアメリカでは有るみたいです。これから出逢う全ての人達に、GOODlack。

ごまと私

長村 義美

私は、元気が取り柄で好奇心一杯の63歳です。

私の前職は、食品販売会社に在籍していましたが、阪神淡路大震災の起こる20年前までは、京呉服販売会社でした。

関西を中心にした大災害で、それまで順調に呉服販売をしていた会社の売り上げが、短期間で大赤字に転落しました。丁度、TVコマーシャルを流しだした直後でその支払いも重なって資金が一気に底を尽きましたが、銀行にも見放されて大変な状況になりました。

そこで、背に腹は代えられないので味噌や醤油の訪問販売をする新会社を設立しました。

私は、醤油を軽四輪に積み込み仲間と販売に関西一円の住宅街を、歩き続け会社を大きくする事が出来ました。

しかしそれから、17年後に東日本大震災が起きて私の人生は、大きく変わりました。

会社は、順調に推移していましたが、私は、既に60歳近くになって、訪問販売から通販会社に業態変化をされていて、自分が永年会社に在籍するだけの重し石に成っているような気がし、会社を若い人達にバトンタッチして違う人生を進みたいと考えている時期でした。

東日本大震災がきっかけで、深堀社長が紹介して頂いた方のご主人が、南米ボリビアの方で、その人が近所に住むようになり大の仲良しになりました。

「人生は、短い！うかうかしていたら・・・私の人生は終わってしまう。」その人がボリビアでのビジネスを誘ってくれました。私は、新規一転 退社してボリビアのビジネスに挑戦し出しました。

ボリビアから商品を輸入しボリビアに日本の技術を輸出する。

フェアトレードです。これから南米は、日本に取って欠かせない地域になるでしょう。深堀社長が開発に挑戦するパラグアイも同じですよ。

私には、ボリビアの仕事にプラスして、深堀社長が普段の仕事として「私に、胡麻の仕事を与えてくれました。」

私は、訪問販売をしていた時から、知らない所で知らない人と話し色々と教えてもらい商売するのが大好きでした。(今は、もう時代遅れですがね?)

ですから、デパート等の催事もお客様とお話するのが楽しいです。陳列を変えたり、誘いの文言を変えたりワクワクします。

阪急梅田本店の催事には、私も参加します。石田先生が、色々な準備をして万全にして現場に臨みます。

しかし、阪急梅田本店の催事は、激務になります。予想しない事も起ります。お客様が、胡麻をお買い求めに何人も並ばれ列に成りますので、私は、延々と胡麻をつき続けなければなりません。

ただ「美味し・楽し・嬉し」を、心の中で連呼し続けます。売り上げ勘定は、殆んどしません。不思議に、売り上げ勘定をすると、ごまが苦く成ってしまいます。

目の前のお客様に出来るだけ集中します。

腕も肩も張り、指は腱鞘炎で痛くなってしまい帰りの電車では寝込んでしまいます。

それでも、深堀社長を初め、石田先生、マネキンさん、スタッフ全員の一生懸命の笑顔でお客様へ話しかけ、杵つきごまの香りと“人の繋がり”で杵つき胡麻を購入して頂く」情景に何か感動と充実感を貰います。

わだまんサイエンスの社訓に人に喜ばれる仕事をしよう。そして、生かされた感謝の気持ちを伝えよう。という言葉が私は、大好きです。

残る、人生を、感謝と喜びで送ろうと考えています。

ありがとうございます。